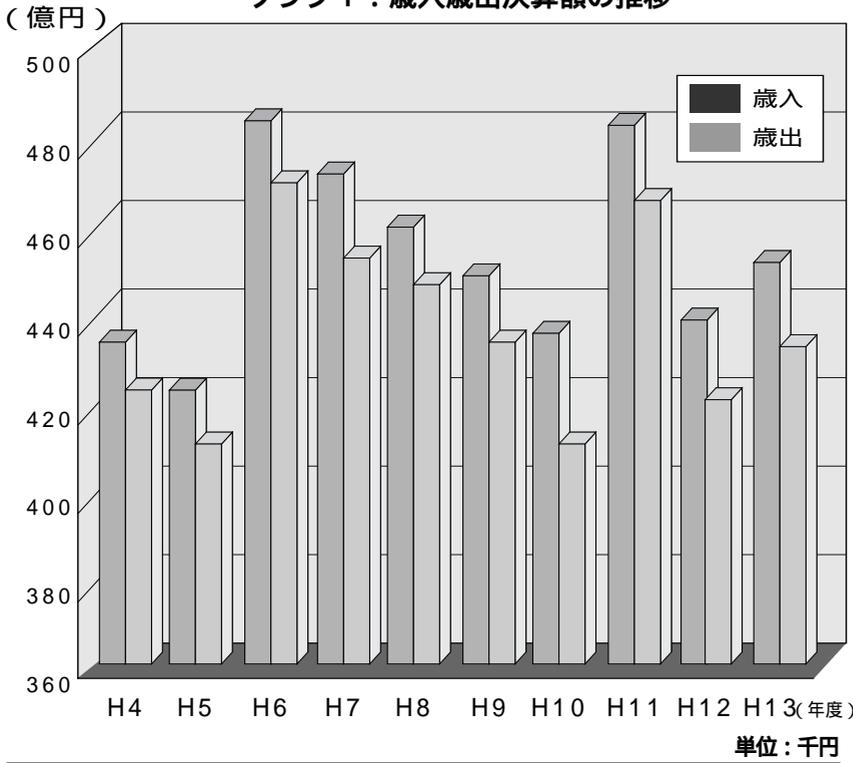


狭山市の10年間の財政状況をお知らせします

狭山市の財政は、国や他の地方自治体と同様、長引く景気の低迷により歳入が減少傾向にある一方、歳出は経常的に必要な経費が年々増加し、厳しい状況が続いています。

こうした中、市では財政の健全化を図るため積極的に事務事業の見直しなどを進めています。そこで、今月は過去10年間の決算額や財政の状況を示す財政力指数などを基に、県内市の平均と比較しながら狭山市の財政状況をお知らせします。

グラフ1：歳入歳出決算額の推移



単位：千円

年度	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8
歳入	43,026,048	41,956,778	48,034,372	46,777,456	45,630,742
歳出	41,966,366	40,708,232	46,583,062	44,916,016	44,254,466
年度	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13
歳入	44,461,315	43,198,750	47,920,244	43,494,291	44,805,631
歳出	42,951,835	40,657,298	46,242,536	41,692,677	42,947,926

グラフデータは、地方自治体間の財政比較をするための統計上の区分である「普通会計」の決算額を使用しています

財政規模は450億円で推移

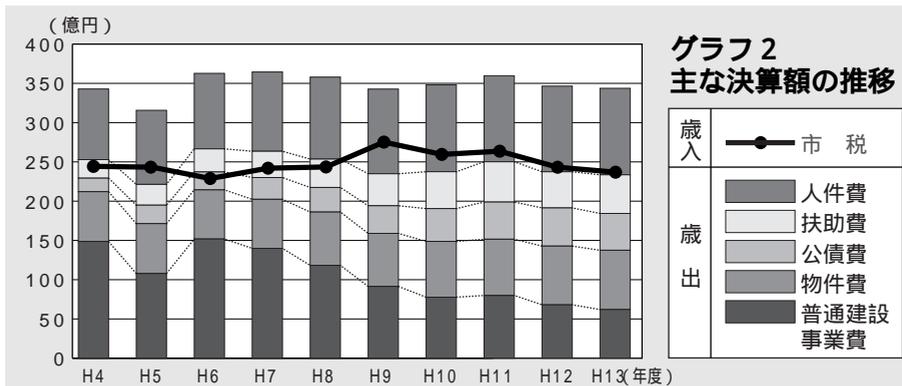
グラフ1は、歳入・歳出の決算額から、市の財政規模の推移を表したものです。平成13年度では、歳入が約448億円、歳出が約429億円で、最近10年間を見ても、450億円前後で推移しているのが分かります。歳入・歳出額が大きく伸びている平成6年度は、第二環境センターの建設、そして平成11年度は入間川小学校移転建替などが行われ、大規模施設の建設事業などが行われた場合に、決算額が大きく伸びています。

主な歳入・歳出の推移

グラフ2は、歳入・歳出の性質に着目して主な決算額の推移を表したものです。

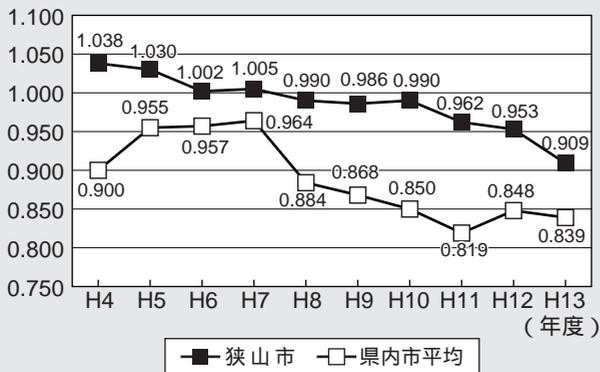
まず、市の財源として入ってくるお金(歳入)の内、市税は市民税や固定資産税など、税金として市に納められるお金で、歳入の6割近くを占めています。

グラフ2 主な決算額の推移

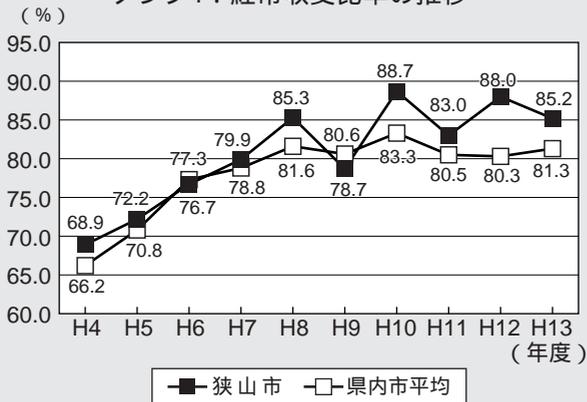


平成6年度に特別減税の影響で落ち込んだほか、平成9年度をピークに、景気後退の影響で年々減少を続けています。平成13年度は最も多く税収入があった年度に比べて約38億3千万円

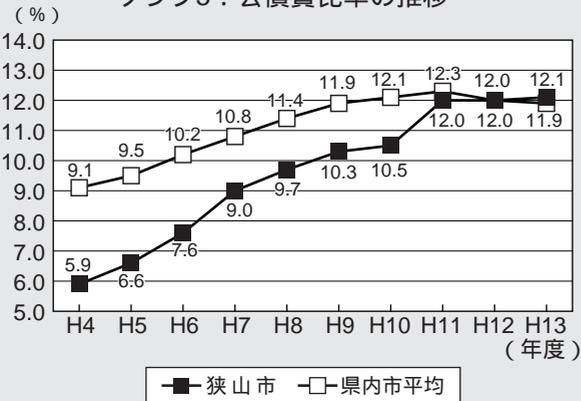
グラフ3：財政力指数の推移



グラフ4：経常収支比率の推移



グラフ5：公債費比率の推移



の減収となり、市の財政に大きな影響を与えています。

次に、皆さんのために使われるお金(歳出)では、扶助費生活保護法などの法律に基づく事業や、市が単独で行う福祉事業などに支出されるお金が、少子・高齢化の進行などの影響で、10年間で25億6千万円の増加となり、倍増しています。

公債費市が借り入れたお金(市債)に対する、返済のためのお金は、各種施設の建設などに活用した結果、10年間で29億7千万円の増加となっています。また、施設の維持管理に必要な

お金などを含む物件費や人件費の支出額も増加傾向にあります。

一方で、道路や施設の建設に使われる普通建設事業費は、平成4年度は赤坂の森公園、平成6年度は第二環境センターの建設などにより経費が増加しました。しかし、近年は減少傾向にあります。

各種指標から見る財政状況

グラフ3の財政力指数は、財政基盤の強さを示す指標で、財政力指数が大きいほど財政力が強いといえます。狭山市は、県内

市平均よりも数値は高いものの、年々低下してきています。

グラフ4の経常収支比率は、臨時の財政需要に対応できる財政の弾力性を判断するための指標で、80%を超えると弾力性が失われつつあるといわれています。近年は比率の上下もみられますが、長引く景気の低迷などから市税など歳入の伸び悩みと、義務的経費の増加などから、今後も高い水準で推移していくことが予想されます。

グラフ5の公債費比率は、公債費による財政負担の程度を判断するための指標で、15%を超

えると財政の弾力性を阻害するともいわれています。狭山市は、15%を超えてはいませんが、年々増加傾向にあり、今後事業の選択など、後年度の負担への配慮が一層必要となります。

効率的な財政運営を目指す

現在、市の財政状況は歳入が減少傾向にあり、早急な回復が見込めない一方で、歳出は経常的に必要な経費が年々増加していることがうかがえます。これまでの施策の維持と、新たな政策課題に対応していくために、どのように財政を運営していくかが大きな課題です。

市では、今まで以上に事務事業の見直しを積極的に行うなど、効率的な財政運営に努めていきますので、財政状況をご理解いただき、引き続き市政へのご協力をお願いします。

これからも皆さんにより分かりやすい情報をお知らせしていきます。狭山市公式ホームページでも資料を掲載していますので、ぜひご覧ください。

問合せ財政課へ内線7112